

第3期 県央県南広域環境組合地球温暖化防止実行計画 点検・評価

本組合は、事務及び事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、「第3期県央県南広域環境組合地球温暖化防止実行計画(以下「実行計画」という。)」を策定し地球温暖化対策に取り組んでいます。

実行計画第5章3.に基づき点検を実施し、令和2年度(基準年度)と令和3年度の温室効果ガス(CO₂)排出量の点検・評価を公表します。

1. 結果

	R2年度(基準年度)		R3年度		増減量		増減率
CO ₂ 排出量	27464	t-CO ₂	27267	t-CO ₂	-197	t-CO ₂	-0.7%

温室効果ガス(CO₂)排出量を基準年度と比較し、組合全体で0.7%削減できました。

2. 点検

(1) 各施設温室効果ガス(CO₂)排出量

施設名	R2年度(基準年度)		R3年度		増減量		増減率
県央県南クリーンセンター	26948	t-CO ₂	26734	t-CO ₂	-214	t-CO ₂	-0.8%
東部リレーセンター	65	t-CO ₂	69	t-CO ₂	4	t-CO ₂	6.2%
西部リレーセンター	41	t-CO ₂	40	t-CO ₂	-1	t-CO ₂	-2.4%
余熱利用施設	356	t-CO ₂	363	t-CO ₂	7	t-CO ₂	2.0%
用水ポンプ場	53	t-CO ₂	60	t-CO ₂	7	t-CO ₂	13.2%
合計	27464	t-CO ₂	27267	t-CO ₂	-197	t-CO ₂	-0.7%

* 四捨五入等により合計値が合わない場合があります。

(2) 要因別温室効果ガス(CO₂)排出量

項目	単位	R2年度(基準年度)		R3年度		差		排出量増減率	排出割合
		使用量	排出量(t-CO ₂)	使用量	排出量(t-CO ₂)	使用量	排出量(t-CO ₂)		
揮発油(ガソリン等)	kℓ	2	4	2	4	0	0	6%	0%
灯油	kℓ	0	0	0	0	0	0	--	0%
軽油	kℓ	6	16	5	12	-1	-4	-24%	0%
A重油	kℓ	0	0	0	0	0	0	--	0%
液化石油ガス(LPG)	t	0	0	0	0	0	0	3%	0%
液化天然ガス(LNG)	t	2898	7833	2942	7950	43	117	1%	29%
電力	千kWh	12067	4151	10864	3965	-1204	-186	-4%	15%
一般廃棄物焼却量(非エネルギー起源)	t	5580	15457	5536	15335	-44	-122	-1%	56%
合計			27464		27267		-197	-1%	100%

* 四捨五入等により合計値が合わない場合があります。

3. 評価

- | | |
|--|---|
| 揮発油(ガソリン等)
軽油
液化石油ガス(LPG)
液化天然ガス(LNG)
電力
一般廃棄物焼却量(非エネルギー起源) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新施設建設に伴う事務連絡等により、公用車の使用が増加したことにより燃料使用量が増加しました。 ・ 資材等の荷役作業車及び仮設電源等の使用が大幅に減少しました。 ・ 例年並みに推移しております。 ・ ガスエンジン改良工事に伴う試運転に使用したことにより増加しました。 ・ ガスエンジン発電設備が稼働したことにより、買電が削減されました。 ・ 焼却時に二酸化炭素を大量に排出する、廃プラスチック類のごみ44t_ト削減できました。 |
|--|---|

4. 今後の組合の取り組み

年々深刻さを増す環境問題。

地球温暖化対策の中で一番大きな課題が二酸化炭素(CO₂)の排出量の削減といわれております。

二酸化炭素の排出量を削減するには化石燃料の消費を減らす必要があります。

当組合では、第3期地球温暖化防止実行計画を作成し、温室効果ガス排出量の削減目標を年平均1%(5年間で5%)としています。目標達成のため、構成市と連携し廃棄物の減量化や分別等の3R等に取り組み「未来に美しい地球を残す。」ことを念頭に置き、職員一人ひとりが省エネルギーを徹底し、温室効果ガス(CO₂)削減に取り組めます。